



# かえでゆうびん 9月号



2022年9月1日  
社会福祉法人 清松学園  
幼保連携型認定こども園  
かえで保育園  
園長 引地 美津代

季節が「秋」へと移行してきました。会話が聞こえないほどの音量で鳴き続けていた「蝉」も秋の風を感じたとたん、声が聞こえなくなりました。かえでの園庭にも毎年蝉が増え、一日の始まりは蝉取りから始まります。朝夕の涼しいときに鳴くヒグラシや暑さを感じて鳴くクマゼミやアブラゼミ・・・気温の変化にいち早く反応し、活動を終えていく準備をしている蝉たちに今年も子どもたちの蝉取りにお付き合いしてくれてありがとうと伝えたいです。セミが鳴かなくなるとなぜか少し子どもたちの園庭での会話も変化が出てきたように感じます。こうして自然の営みを肌で感じ、生き物で覚え、自分の好きなものや事を見つけていきます。かえで保育園の園庭には子どもたちと育ててきた木々やおもちゃがずっと歴史を引き継いでくれています。どこで知ったかどう引き継いだかは子ども同士のやり取りですのでよくわかりませんが、一緒に過ごす空間で驚くほどの吸収力で驚かされます。泥団子にちょうど良いさら砂

- ・園庭の砂場の中からの貝殻集め・積み木の積み重ね方・虫の触り方など

「じっくり物事を考える」「不思議を感じ、自分で調べる」ことができるよう保育の中の環境づくりを仕掛けています。大人にとっては何気ない行動ですが子どもにとってはその瞬間に心が動くことをたくさん経験してほしいと思います。

8月末に子どもたちの思い出作りの「夏祭り」を行いました。8月の初めより、感染症が蔓延していき、先の見えない毎日でした。クラス閉鎖の繰り返しで継続した保育ができず、子どもたちは遊びを始めると途中でストップ。感染症が出てしまうたびに園全体の消毒のために子どもが始めた制作や積み木を片づけてしまわないといけない日々でした。一日も早く通常保育に戻したいと思いながらもうまく進んでいかない中で、金魚すくい・ポップコーンや綿菓子・ヨーヨー釣りなどの仕掛けをしながら復活を心待ちにしていました。31日最終日に盆踊りから始まってラストはお家の方との宝つり・・・子どものうれしそうな顔と久しぶりの保護者の方との触れ合いに9月からまた様々なことを再開しながらもっと深めていきたいと感じました。まだまだ先は見えませんが、子どもの経験不足にならないよう計画し楽しい生活ができるよう考案していきます。どうぞよろしくをお願いします。



## お知らせ

- ・9月1日から2023年度の各家庭の家庭調査表をお配りします。内容を確認の上、期限内に提出をお願いします。
- ・実習生が入ります。事前に抗原定性検査を受けています。
  - 9月 1日～12日 関西学院大学 1名
  - 8日～20日 関西学院大学 2名
  - 12日～14日 常盤大学 2名
  - 15日～29日 常盤大学 3名
- ・8日(木) 厨房 ガスコンロの取り換え 簡易おやつとなります。
- ・10日(土) 園庭側溝・沐浴室の排水の高圧洗浄
- ・16日～24日 ランチルーム床暖房工事・1階テラス給湯器設置
- ・16日 保健師による巡回指導
- ・子育て支援事業・・・13日 音楽で遊ぼう
- 27日 育児カウンセリング

## おねがい

- ・感染症の状況で、変更・中止する場合があります。よいこネットを確認ください
- ・よいこネットが入りにくい方は迷惑メールに入っている可能性もありますので、迷惑メールホルダーをご確認ください。

## 9月の予定

- 22日(木) 誕生会  
体操あそびはできる限り毎木曜に行います。  
16・21・26(金・水・月) 絵画あそび
- \*太田先生のご厚意で3回行います。
  - ・新型コロナウイルスによる抗原定性検査を受けられる際、必ず、速やかに園の報告をお願いします。
  - ・園児や兄弟姉妹が陽性となった場合、隔離することが困難と考えます。集団生活ですのでできる限り陽性者が自宅待機の期間は一緒に健康観察をしてください。
  - ・コロナウイルスによる治癒証明書は不備がありましたので再度文面を検討し、再度発行いたします。
  - ・9月30日は「だいち組のだいぼうけんの日」(お泊り保育)を予定しています。その日の日割り延長はありません。1日の土曜日の保育はありません。
- ご理解・ご協力お願いいたします。

子どもたちは保育園でふっといろんなことを思い出して話してくれます。ある朝、つぼみ組と遊んでいる時、夜中に寝ている時の雷が怖かったことを「雷怖いねー怖かったね。雷なったねー」とはなしてくれました。雷が大の苦手な私は「先生も雷怖いんだー、雷は怖いねー」と話すと、「雷怖いのか？大丈夫よ。大丈夫だからね」と優しい言葉をかけてくれました。私が事務所に戻り、しばらく時間がたっても私の顔を見ると同じようにまた、声をかけてくれます。自分が怖い体験をし、家族や周りの大人たちに優しくしてもらったり、守ってもらったりしたことが今度は素直に私の「怖かった」という気持ちに共感してくれ、相手の気持ちに寄り添える素敵な心が育っていることに嬉しく思いました。困っている人に手を差し伸べることができる人は、差し伸べてもらったことのある人だと思っています。コロナ禍で他人との距離をもつことを優先してしまう生活の中で、相手の思いを汲み取り、人を思いやる気持ちを持ち続けられるような「心が育つ保育」を大切にこれからも様々な場面ごとに伝えていきたいと思っています。 主幹保育教諭 藤森 寿美

夕方に園庭を通る風も、少し秋を感じられるようになりました。夜になると、虫たちの鳴き声が季節の移り変わりを知らせてくれています。保護者の皆様もご存じの通り、かえで保育園には沢山の窓があります。室内にいる時にも、葉が風に揺れる様子や、お日様の光、他クラスの友だちの様子など外の環境との繋がりを持つことが出来ればと思い、カーテンを開けて過ごすことも多くあります。

ある日のこと、めばえ組の部屋で窓際の段差に座りながら外を眺めるめばえさんがいました。



じーっと見つめる視線の先には、幼児クラスの友だちが遊んでいます。めばえ組の窓の前にあるテラスに座り、真剣な表情です。すり鉢に入れた花をすりこぎで潰し、こぼれないようにそっと水を注ぎ・・・一つ一つの動作を、身を乗り出しながら見つめるめばえさん、夢中になるあまり、口が開いている姿がなんとも愛おしいです。めばえ組の部屋からはきっと、可愛い後ろ姿が見えているのでしょうか。あえて保育者が声を掛けず後ろから見守ることで、2人の間にゆったりとした時間が流れていたように思います。そしてこんなにも近くで視線を送っているめばえさんの存在に気付かないほど、忙しそうな幼児さんもまた、あそびを通して心を育てていたのだと思います。かえで保育園にある沢山の窓が、子どもにとっての世界を広げる入口になってくれると嬉しいです。

主幹保育教諭 河本彩奈

# 今月の子どもたちのようす

8月のかえでの様子をご紹介します。



お兄さんやお姉さんがしている  
ままごとに興味津々の様子で、  
スプーンで掬ったり、コップと  
お皿を机に並べたりして遊んで  
いました。



3年前に大きな冷凍庫を  
頂きました。その中に自分で  
作った色水や花びらを浮かし  
た水など毎日のように「こおら  
せて～」と他の様々な形の氷を  
お皿に入れて楽しんでいます。



サイコロを振って、出た色の卵をワニの  
上に乗せていくゲーム。下の部分が丸く  
なっており、バランスよく載せないと  
グラグラして落ちてしまいます。真ん中  
や端っこなど乗せる場所を工夫しながら  
楽しんでいます。



めばえ組で育てたひまわりが  
咲きました。  
葉っぱを持って揺らしたり、ち  
ぎって袋に入れたりして  
葉っぱ遊びを楽しみました。



立体にお絵描きをしてみると、  
あちこち描きたいところが見つ  
かり、いろいろな色を重ねて取り  
組んでいました。  
夢中になってお絵描きを楽しん  
でいるとダンボールの上に載っ  
て見たくなる子もいましたよ。



保育者が食材を並べてお店屋さんを  
開店すると、籠を持ったお客さんが  
やってきてお買い物を楽しんでいます。  
好きなだけ籠に詰めると、満足した  
表情で「お会計お願いします」と丁寧  
に伝えてくれます。



クレヨンでお絵描きをして  
遊びました。クレヨンをぐるぐるしたり、  
トントンしてみたりして、  
カラフルで素敵な箱ができました。



氷からどんどん色が出てくる氷  
絵の具に「なんで～」と、不思議  
そうにしていました。  
赤、青、黄色の絵の具が溶け出す  
と、冷たいお絵描きを楽しんで  
いました。



「どろきょうりゅう」の絵本から恐竜とたまごに興味津々な子ども達。紙粘土を使って自分だけのオリジナルのたまご作りをする子もいました。もしかしたらなにか生まれてくるかも...とドキドキしながら完成したたまごを大切にしています。



いよいよお米が育ちました。ぐんぐん大きくなる稲の長さをはかって、記録していました。ある日、お米の形を見つけ「できる！」と嬉しそうなお子も達でした。おいしいお米がたくさんできるように、今はすずめ対策を子どもたちと一緒にネットを掛けて様子を見守ります。美味しいお米ができますように...



だいちとひかりが今はやっているのが「足を使ってスズランテープをはさみつくる三つ編み」です。毎日のように好きな色のテープを3色選んで楽しんでいます。お友達と一緒に色でお揃いだね！と喜んでいきます。

『おいしいのぼうけん』から今は『ねこのくに』の絵本に夢中の子ども達です。主人公が被っているお面を作りたい子、島にたどり着く船を作りたい子、ダンスや太鼓のリズムを考えたい子と1人ひとりやってみたいと感じたきっかけは違いますが、個々に作っていたものが1つの遊びに繋がってきています。物語からごっこ遊びになりそれぞれが役になりきり、太鼓のリズムやオリジナルの躍りを考えて楽しんでいます。

この鳥怖いからすずめ来ないんじゃない



だいち組になってカメのお世話お当番が始まり、はじめは様子がつかめず苦労していましたが、回を重ねる毎に手際よく進められるようになっていきます。時々もりぴー達は家から逃げ出し、園庭を散歩していることもあります。「どうやって逃げているんだろう。お家を少し変えた方がいいのかな。」など、その都度みんなで話し合いをして大切にお世話をしています。



水の道ができたかな？

子ども達の大好きな水遊び。スプリンクラーで水がクルクルまわっている所へ子どもたちが集まってきます。シャワーのような細かい水が心地よいウォーターシャワーとなり、水の気持ち良さを感じています。いつのまにかびしょり！嬉しい笑顔がいっぱいです。



園庭では水遊びが大盛り上がり！じゃぶじゃぶ池に集まって、井戸のレバーを押して水を出したり、出てくる水を浴びたり...。全身ずぶ濡れになったお互いの様子を見て、「びしょびしょ！」と笑いあう姿がとても微笑ましいです。



西～〇〇山  
東～〇〇海



負けなからね！



水がクルクルまわってる！

バケツに水いれるね！

はっけよい、のこった！お相撲が始まりました。腰をおとして相手にぶつかっていきます。行司の人、周りの応援している友達も見守っています。お相撲さんのように強くなりたいと昼食の時に少し苦手な野菜も食べ、元気もりもりで次の対戦に臨んでいます。



# 子どもたちのメッセージ

## 「Sくんとつながろう」

祖父母が住んでいる中国に家族で行っている S くとだいち組の友達は、ZOOM を使ってオンラインで繋がっています。しばらく対面では会えていませんが、スクリーン上から会える S くに手を振り、だいち組での近況を話したり、S くに中国についての質問をしたりしてやりとりをしています。特に子どもたちが気になるのは、どんな料理を食べているのかということです。事前に園にある絵本や図鑑から中国で有名な料理や食材を調べ、「かしょうって知っているかな？」と疑問に思ったことを出しあいます。S くんが現地で気に入っている料理は、チベット料理というものでした。それは、だいち組の友達が調べた料理とは異なるものでしたが、写真や屋台の映像を見て、なんと、羊肉の串焼きがおいしいことを聞き想像をふくらませていました。すると、料理から地理的なことに疑問をもち、「チベット料理をたべているところは中国のどこの？」や「S くんがいるところは中国のどこ？」と聞きたいことが次々と出てきます。自分たちが住んでいるところだけでなく、グローバルに目を向けて興味・関心をもっているだいち組です。



## 「我らゴーヤ隊！」

7月の昼食で食べた「ゴーヤチャンプルー」のゴーヤの種を丁寧に洗い、芽が出ることを願って種を植えていました。窓際で8月の強い日差しを浴び、ゴーヤ隊の友達が毎日様子を気にしていたことが大きな栄養となったのか、8月になり芽がでてきました。「ゴーヤの芽がでたよ！」と嬉しそうに保育者に話してくれました。芽が出るまではペットボトルを鉢にし、室内で育てていましたが、これから根を張り成長することを考えて、大きいプランターに移し替えることを決めました。やわらかく栄養のある土づくりし、優しく移し替えました。ゴーヤ隊と名前をつけて友達数人で栽培を始めましたが、8月は夏期休暇がそれぞれ違い、ゴーヤ隊が揃って活動することはほとんどありませんでした。しかし、ゴーヤは日々成長しているので待つことはできません。チームだからこそお互いができる時に、友達を信頼して大切にゴーヤを栽培しています。



# お台所から

## 今月の食育活動

### 8月9日

ランチルームで成長を見守っていた豆苗が良い長さに育ちました。幼児さんに切ってもらいそれをゆがき、すまし汁の中に盛り付けました。豆苗が入ることでも見栄えも彩りも良くなりいつものすまし汁がとっても豪華になりました。



### 8月22日

幼児クラスのお友だちが大切に育てているピーマンとパプリカを「お料理してくださ〜い！」と厨房にもってきてくれました。目の前で切ってみると、「わー！種がいっぱい入っているよ！」と大興奮！食べてみると、「少し苦い、」と顔をしかめていましたが、ゆっくり味わって食べていました。



## 厨房から

少し前から入口に展示している献立メニューに子どもたちがぬりえをしてくれています！みんな「色ぬりするー！」と毎日大人気で、「今日はだれがぬっているの？」と聞きに来てくれます。ぬり絵があることで毎日のお料理がとっても華やかになりました！ぬり絵をしてくれたお友達のお名前も紹介しています。ぜひ見てくださいね。

## 食育活動

9月の献立では、かぼちゃの煮物や冬瓜スープが登場します！実際に旬の食材を見てもらったり触ってもらうなどの食育やおにぎりを握る所や今日使うお米の量、カレーのルウを見てもらうなど少し工夫をして興味を持ってもらえるように食育に取り組んでいきたいと思っています。



## 先生たちのメッセージ

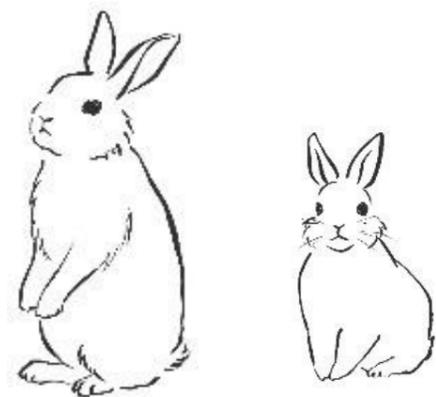
先日、部屋の整理をしていた時に幼い頃のビデオテープを見つけました。

「懐かしいね、ちょっと見てみよう」と家族で鑑賞会が始まりました。自分がかままり立ちから伝い歩きをしたり、離乳食を食べさせてもらっていた頃から手で無我夢中に食べている様子だったり、そこには自分の記憶にはない幼い頃の映像が映っていました。映像を見ながら「この後、熱が出て大変だったのよ」とその瞬間を写真や動画だけでなく、実際に目で見て感じたことを思い出として懐かしむ母の姿に動画だけでは伝わらない当時の気持ちやほっこりした温かさを感じました。

今ではスマートフォンで気軽に写真や動画を撮ることが日常となっています。スマートフォンが普及し、SNSでの映え写真が日常化している現代の良さも大切に思い出として残しておきたい瞬間を収める手段として使われていた今までの時代の良さもあります。保育園での『1日の様子』では、子ども達の写真を掲示しています。

一人ひとりのきらっと輝く瞬間を逃さないようにと写真を撮っていますが、見ているといつの間にか夢中になって子ども達の様子を見いってしまうこともあります。そのような瞬間を間近で見られる嬉しさと子ども達の関わりや気づきをこれからも伝えていきたいと思います。

日笠 加菜



## 保護者からのエピソード

保育園に行ってから、食事の前に「いただきます」と「ごちそうさま」をするようになり、まだはっきりその言葉を使うわけではないですが、その仕草に毎日家でもキュンキュンさせられています。これからもたくさんの初めてを覚えてくるのかなあーと思うとワクワクしています。

めばえ組 わかなさん

「いぶきさんになったから〇〇ができるようになるんだよ」と自慢げに話したり、お友達と遊んだこと（何をどうだったか）、話す内容がどんどん濃くなってきました。広島の実家では、ブドウ狩り、プール、花火、大好きなお兄ちゃんたちといっぱい遊んで体力が有り余っている様子。園でも、いろんな体験をしていろんな刺激を受け、親はいつも驚きと感動でいっぱいです。

いぶき組 やすひろさん

偏食で家では「きやい！」と食べないものも園では隣の子を真似しながら色々食べた話を聞きいつもびっくりしています。まだ固い顔、フープを持って楽しそうな顔、何かつまみ難しそうな顔。お迎えの時に掲示の写真から探し、先生からのエピソードを聞くのを、別園で通う兄と一緒に毎日楽しみにしています。そして笑顔で扉から出てくる子と帰る。日々先生方に感謝です。

ふたば組 のぶこさん

園からの帰り道、息子はいつもその日の園での出来事を話してくれます。自分たちが育てた野菜を収穫して頂いたこと、頭から水をかぶったこと、昆虫にちゃんと触れたこと…などなど。その時の目はキラキラで、たくさんのことを感じたのだろうなと伝わってきます。先生方、いつも心を育む関わりをして下さってありがとうございます。

つぼみ組 さなえさん

かえで保育園の給食は素材を生かした体に優しい給食です。また「食育」にも熱心に取り組まれているので、娘は調理のお手伝いが大好きです。以前、かえでカフェで教えていただいた「出汁」と出汁がらで作った佃煮が驚くほどおいしかったので、自宅でも娘と一緒に作りました。家族みんなで「おいしい！」といただくことができ、話題はSDGsへと発展しました。次のかえでカフェが楽しみ！

ひかり組 かずよさん

入園当初は無表情で写っていた園の様子の写真が、日に日にここに顔で写っている写真に変わっていったのを見て楽しく過ごせているんだなと嬉しく感じます。

めばえ組 しのぶさん

# あそびへの思い



## めばえ

日中はまだまだ夏と変わらず暑い日が続いていますが、日が落ちるのものはやくなり、朝晩はすっかり過ごしやすくなりました。8月は、テラスで水遊びをしたり、冷たい氷に触れたり、夏ならではの遊びを楽しみました。

室内では、絵本を読んでいるとハイハイや歩いて近づいてきたり、絵本を見て笑ったりしています。「あ！」と言って手を伸ばして触ったりと動きも積極的になっています。また、最近は喃語表現も増えコミュニケーションを取ろうとする姿を多く見られるようになりました。今月は、絵の具でのフィンガーペイントや片栗粉粘土、花紙など様々な素材に触れて遊びを楽しみたいと思います。

宝田 聖美 小板橋 円香 峰 夏音

## ふたば

8月は、ゆったりと少人数ずつで取り組める遊びを楽しみました。室内でも遊びの空間を分けることで一人ひとりがしたい遊びにじっくり取り組む姿が見られました。クレヨンやスタンプペン、絵の具などを使って模造紙や段ボールにお絵かきを楽しんだり、テラスで水や冷たい氷の感触を楽しんだり、様々な素材に触れる遊びを取り入れてきました。遊びを通して友達同士の関わりも増え、言葉や表情での伝え合いが見られるようになっていきます。9月も引き続き夏の遊びを取り入れながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じ関わりがさらに広がってほしいなと思います。

福井真裕子 尾崎美緒 西田汐里菜

## つぼみ

残暑が厳しい中ですが、つぼみ組の子どもたちは全身で「水」を感じながら夏遊びを楽しんでいます。じゃぶじゃぶ池では、井戸の水を出す人と、出てくる水を浴びる人の役割に分かれて、遊ぶ姿が見られました。保育者がいないところでも「〇〇ちゃんおみずだして」「次は〇〇くんね」などと子どもたち同士でコミュニケーションを取ってルールを決めている様子に驚かされました。初めは遠い距離から見ていた友だちも、楽しそうに水遊びをする様子を見て、気付いたら一緒に楽しんでいることも多くあります。

だんだんと一人から二人、三人と友達の輪が大きくなってきているつぼみさん。来月も小集団の関わりを大切にしながら、季節の遊びを取り入れていきます。

立田瑛怜菜 小寺涼香 近藤幸音

## いぶき

絵本が好きな子どもたちは毎日のように絵本読んで！と自分が興味のある絵本を持ってきてくれます。最近は寝る前に一冊、童話や昔話を読んでいます。話は長いですが子ども達はいつも静かに集中して話をよく聞いてくれます。話を終えると思いつきに絵本の感想を話してくれ、「まだよみたいな～」とってくれる子ども達です。恐竜が好きな子が多く、「おまえうまそうだな」という本を読むと夢中になって聞いてくれました。「どろきょうりゅう」という絵本も人気で何度も読んでほしいというリクエストがあります。絵本を通して子ども達でごっこ遊びを楽しむ姿も見られるようになりました。恐竜やプリンセス、三匹の子豚になりきる子もいました。これからも友達と可愛らしいなりきり遊びを楽しんでほしいと思います。

小城 美紗

## ひかり

8月は色水を作って混色を楽しんだり、石鹸を削って泡遊びや水あそびを楽しんだり、暑い夏ならではの遊びを楽しみました。お盆の時期にはお休みの子もいため、お友達と一緒に遊んでいた貝殻集めやお面づくり等「〇〇ちゃんまだかな」「これ一緒に作るって約束したんだ」と少しずつ友だちと一緒に遊ぶ楽しさを感じているように思いました。久しぶりに友達や保育者と顔を合わせると「ひさしぶり」「待ってたよ～〇〇の続きしよう」と会話を楽しみながらお休みの間にしたことをたくさん教えてくれました。園生活のリズムを少しずつ取り戻しながら、秋の遊びを満喫して元気に過ごしていきたいです。

日笠 加菜

## だいち

パイナップルの種から始まった種コレクション。子ども達が持ってきてくれた種をいくつか植えています。毎日水やりを続けているとやっと芽が出始めました。スイカやメロン、オレンジ、アボカド、ゴーヤなど少しずつ芽が大きくなっていく様子に期待感を抱きながらお世話を楽しんでいます。また6月に育て始めた稲もお米の形が出てきました。すすめが保育園に姿を現すようになり、稲を守る対策を子ども達と考えています。図鑑を持ってきて、「すすめが苦手な鳥をつくろう」「きらきらのテープが書いてある」など子どもたち自身で調べています。卒園までにどのくらい成長するのか、食べられる植物はいくつあるのか分かりませんが、ワクワクしながら子ども達と一緒に私も楽しんでいきたいと思います。

松岡 桃花

## はまかせ

水遊びはこれまでも継続して遊んでいる子どもたちの好きな遊びのひとつです。井戸から水を汲んでじゃぶじゃぶ池や園庭に向かって流していると、次々と異年齢を超えて子ども達が集まります。ある時は、ペットボトルなどを使って水路を作っていました。水路をつなげていく時には、繊細なバランスが必要などころがあるようです。だいち組の友達がつくるところを真剣にみているいぶき組の友達がいました。面白そうと見て、遊びに関わろうとするいぶき組の姿と一緒にしようと誘いの言葉はなくても受け入れているだいち組の様子が印象に残っています。別の日に、いぶき組の友達が自分なりにペットボトルをつかって水路をつくっていました。異年齢で広がっていく遊びをこれからも大切にしていきたいです。

坂本春佳 星加由美子